

令和6年度 立科中学校グランドデザイン

立科町「生きる力を育む立科教育の推進」



学校教育目標 : 健康で粘り強い心と身体 (強く) 深く確かな知識 (明るく) 思いやりのある美しい心 (温かく)

《願う生徒像》

- 1 健康な体づくりをめざして心身を鍛えるとともに、自己の目あてを実現するために、やる気をもって粘り強く取り組もうとする生徒 (強)
- 2 「生きる力」を身につけるために、社会の変化に対応できる柔軟な思考力と豊かな創造性を培いながら、主体的に学び、自己の考えを的確に表現することができる生徒 (明)
- 3 人権感覚を高め、支え合って生活することの喜びと生きることの尊さを感じられる豊かな心情をもつ生徒 (温)

《合い言葉》

生徒が学びの主人公

《6年度の重点となる教育活動》

重点1 「たくましく 柔軟な 心・身体・思考」
○生徒が主体となり企画推進する生徒会活動の充実 日常活動と蓼秋祭の実践を通じて
○他を思いやり、正しい判断のもとに行動できる生徒の育成 全職員による道徳学習の充実
○心身の健康に関心を持ち、自己理解を深めながら、自ら進んで健康で安全安心な生活ができる生徒の育成 保健教育・教育相談・学校を明るくするアンケートの充実
○部活動における生徒の主体的な活動への支援
○小中高の連携した学び、「立科教育」の推進

重点2 「自ら学び 共に学ぶ生徒」
○生徒が必要感を持ち、意欲的に取り組める学習課題の設定と振り返りの充実
○対話的な学習によりお互いが学び合う授業の構築、「生徒に学びを委ねる」場の設定
○ICT 機器の有効活用等により、個別最適な学びにつながる取組の充実
○基礎基本の定着や生徒の興味関心が深まるような家庭学習の充実「家庭学習の手引きの有効活用」

重点3 「自分も仲間も大切に出来る生徒」
○夢を実現していくために、自他の考えを認め、高め合っていく生徒の育成 (職業調べ・先人の生き方に学ぶ・高校調べ等を通して)
○自他の生命を尊び、多様性を理解し受け入れる性に関する保健指導の充実
○お互いのよさを認め合える学級活動
○差別いじめがない明るい社会や集団を主体的に築き上げる態度を養う人権学習の充実

プラス1 「地域を知り、地域で働き、地域に貢献する生徒」

- 地域のフィールドワーク、地域の事業所での職業体験学習、福祉施設での福祉体験等、地域に学ぶ「総合的な学習の時間」の推進 小中高と連携した「三校清掃」の継続、推進
- 地域の指導員及び保護者との連携を図った地域と歩む「部活動」の運営
- 町の社会福祉協議会と連携したボランティア活動の推進

学校目標の具現に向けた私たち (職員) の決意《保小中高ともに同僚性を高めながら「発達や学び」を切れ目なく連携します》

- ・生徒とともに創造する授業を目指します。 ・生徒の思い・願い・困り感を受け止め、生徒に寄り添った支援を行います。(生徒理解の充実)
- ・同僚性を生かした職員研修 (授業力向上研修、非違行為防止研修等) を充実します。
- ・「立科町コミュニティスクール」と連携し、地域と協働してよりよい学校づくりに努めます。
- ・教師自らが示範する教師集団になります。(生徒とともに行う清掃、授業開始前の移動、相手意識のある言動等)